

三重県 公立高校の入試制度

【2024年度版】

入試概要

三重県公立の主な入試は、前期選抜・後期選抜です。前期選抜に出願する際には「入学確約書」の提出が必要で、合格内定者となった場合は後期選抜への出願はできません。その他、一部の学校で〔連携型中高一貫教育に係る選抜〕〔スポーツ特別枠選抜〕などが前期選抜と同日程で実施されます。

	出願期間	志願変更	入試日	発表日
前期選抜	1/23(火)~26(金)	—	2/5(月)・6(火)	2/15(木)
後期選抜	2/22(木)~28(水)	3/4(月)~6(水)	3/11(月)	3/18(月)
再募集	3/19(火)・21(木)	—	3/22(金)	3/26(火)

※再募集は合格者が入学定員に満たない場合に行われます。

○ 通学区域

居住地域によって北部・中部・南部の学区があります。ただし、全日制課程のうち普通科(スポーツ科学コースを除く)、及び理数科(松阪高校理数科を除く)以外の学科では学区にかかわらずいずれの高校にも志願することができます。(スポーツ特別選抜枠も学区を問いません)

前期選抜

実施校が事前に公表する「学校の特色」「選抜において重視する要件」に基づき独自の選抜を行います。出願時に「自己推薦書」を提出します。

○ 募集

普通科 30%以内、普通科の専門コース・専門学科・総合学科 50%以内を原則として特色等をふまえて各学校が定めます。

※前期選抜 100%募集や前期選抜なしの学校(学科・コース)もあります。

○ 志願

出願は前期選抜を実施する1校、1学科・コースについてのみです。

○ 検査内容 ①~⑤の中から各校が指定する1つ以上の検査を実施

- ① 面接 または 自己表現
- ② 作文 または 小論文
- ③ 実技検査
- ④ 国数英のうち2教科以内の学力検査 または 総合問題
- ⑤ その他 学校が指定した検査

○ 選抜方法

調査書・自己推薦書等の資料と、各校が実施する検査結果をもとに総合的に行われます。合格対象者が募集枠を超えた場合は、当該学科・コースの募集枠の人数の10%の範囲内で合格内定者を増やすことができます。

後期選抜

共通の学力検査および選抜方法により実施し、前期選抜等の合格内定者は出願できません。

○ 募 集

入学定員から前期選抜等の合格内定者を減じた数を募集定員とします。具体的な募集人数は令和6年2月15日に発表されます。

○ 志 願

出願は後期選抜を実施する1校、1学科・コースについてのみです。ただし、同一校に設置する同一課程(全日制・定時制)内の、異なる学科・コースに限り第2志望とすることができます。

○ 検査内容

学力検査は同一問題で行われ、5教科のうち学校が指定した教科を実施します。

国語・数学・社会・英語・理科

各45分

各50点

※傾斜配点を行う学科・コースがあります

学校によっては学力検査のほかに、

〔面接 または 自己表現〕〔作文 または 小論文〕〔実技検査〕を実施します。

○ 選抜方法

選抜は第1～第3の3段階にわたって行われます。

《第1段階》

- 調査書(第3学年における各教科の学習の記録、特別活動の記録等)により、募集人員の約100%にあたる人数を選ぶ。※1)
- 学力検査等の得点上位者から順に募集人員の約80%にあたる人数を選ぶ。
- a・bの両方にあたる者を合格者とする。

《第2段階》

募集人員から第1段階の合格者数を減じた数のうち2分の1に相当する人数を、上記a.で選ばれた者の中から学力検査等の高得点順に選び合格者とする。

《第3段階》

各学校が事前に示す「特に重視する選抜資料等」を踏まえて、残りの合格者を決定する。

※1) 学校・学科(コース)によっては、調査書によって選ぶ人数を約110%・120%に設定しています。

[令和6年度]

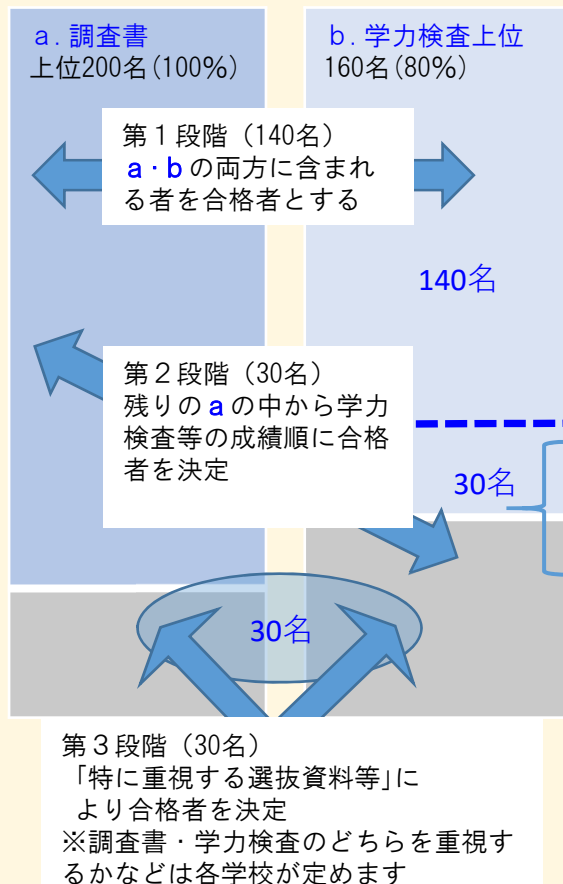
募集人員の110%

桑名、四日市南、神戸、津西、松阪 (いずれも普通科)

募集人員の120%

桑名(理数)、四日市(国際科学)、四日市南(数理科学)、
四日市西(比較文化・歴史、数理情報)、川越(普通・国際文理)、
神戸(理数)、津西(国際科学)、上野(理数)、
名張清峰(文理探究)、松阪(理数)、伊勢(国際科学)

後期募集人員 200名
うち第1段階合格を140名とした場合



☆ 各学校の検査内容や詳しい選抜方法は事前に公表されるので、希望する学校についてあらかじめ確認しておきましょう。